

ご存じですか？

化学物質過敏症

～大切な人にも健康被害が及んでいる可能性が～

化学物質過敏症って何？

少量の物質にでも過敏に反応し、様々な症状が現れます。誰にでも起こりうるリスクある疾患です。

※化学物質過敏症には、未解決な部分が多い疾患でもあります。

化学物質過敏症の仕組み

『繰り返される刺激によって、反応が増し少量でも症状が出るようになる』とされています。ただし、化学物質を吸い込んだ誰もが発症するわけではありません。アルコール（お酒）の代謝に個人差があるように、化学物質を代謝する能力にも個人差があります。

原因となるもの

※「においのするもの」はいわゆる「香料」の原因となり、赤字は高頻度での原因となりますが以下の製品全てが原因となる化学物質を発生するわけではありません。

分類	具体例
においのするもの (いわゆる“香害”) においを消すもの	芳香剤、香水、香料 (洗剤、柔軟剤、化粧水、整髪料、ハンドクリーム、シャンプー、リンス)、制汗剤、アロマ、消毒薬、漂白剤、塩素、消臭剤
虫を殺すもの	農薬、白アリ駆除剤、防虫シート、殺虫剤、防虫剤、防腐剤、蚊取り線香
草を枯らすもの	除草剤
有機溶剤	新築の家、接着剤 (建材など)、塗料 (ペンキ、ラッカー、シンナー)、家具、マニキュア、マジック、インク (印刷物)
可塑剤・難燃剤	塩化ビニル (壁紙)、ワックス (学校・病院)、プラスチック (PC)、防災カーテン
燃焼物	タバコ、野焼き、排気ガス、石油ストーブ、ガスストーブ、線香、火事、煙突の煙 (工場、ごみ焼却場など)
工場現場	ブルーシート、新築、リフォーム、解体、大規模改修、外壁工事、防水工事、道路工事
その他	PM2.5、黄砂、産廃 (処理場・野積み)

どんな症状

- ◎自律神経障害→発汗異常、手足の冷え、頭痛、易疲労性
- ◎内耳障害→めまい、ふらつき、耳鳴り
- ◎気道障害→咽頭痛、口渇
- ◎循環器障害→動悸、不整脈、循環障害
- ◎免疫障害→皮膚炎、喘息、自己免疫異常
- ◎運動器障害→筋力低下、筋肉痛、関節痛、振せん
- ◎消化器障害→下痢、便秘、悪心
- ◎眼科的障害→粘膜の刺激症状、調節障害、視力障害
- ◎精神障害→不眠、不安、うつ状態、不定愁訴 など



様々な症状があり、症状が複数である場合もあります。

香りで困っている人がいます

化学物質過敏症って何？

少量の物質にでも過敏に反応し、様々な症状が現れます。誰にでも起こりうるリスクある疾患です。

※化学物質過敏症には、未解決な部分が多い疾患でもあります。

原因となるもの

香りの感じ方は個人差があります。自分にとって、自分にとっては良い香りでも、他の人には不快に感じられることがあります。

・柔軟剤 ・洗剤 ・芳香剤 ・香水 など



どんな症状

鼻の痛み

せき

不安感

頭痛

目の痛み

めまい

喉の痛み

吐き気

様々な症状があり、症状が複数でる場合もあります。

どうしたらいい？

- ・不快に感じるにのいる場所から離れる
- ・部屋の窓を開けるなどして換気しよう
- ・軽い運動でストレスを緩和

柔軟剤の入れすぎ！！？

見直してみませんか？

普段柔軟剤仕上げ剤を使う方は、「洗たく物の量が普段より少ないのに、柔軟仕上げ剤はいつも通りの量を投入する」傾向があります。

柔軟仕上げ剤を適量で使うには、容器に表示された目安量にそって「計量」することが大切です。柔軟剤の入れすぎに注意しよう。

その香りは、誰のため？

香りの感じ方は、ひとりひとり違います。

心地よいと感じる人ばかりではなく、不快に感じる人もいます。

柔軟剤

洗剤

芳香剤

塗料

タバコ

香水



ひとりひとりが住み心地の良い上士幌町になるよう、
公共施設や人が集まる所では、香りが過度にならないよう

ご理解とご協力をお願いいたします。